アクサＨＤ

一人ひとりが望む未来をつくる「ライフマネジメント®」

ブランドキャンペーン実施

アクサ・ホールディングス・ジャパン（以下、アクサＨＤ）は昨年11月30日から、「自分らしく生きたいという思いを実現するサポーターになる」というミッションを掲げ、ブランドキャンペーン、「一人ひとりが望む未来をつくる『ライフマネジメント®』」を行っている。

ライフマネジメントとは「人生の目的、人生のビジョンに基づいて、将来のあるべき姿を考え、そこに至る道筋を構想し、その実現に向けて、現実と向き合って進んでいくこと」。人々の価値観や生活スタイルが個別化し、多様化する社会において「一人ひとりが『人生を経営する』こと」が当たり前になる社会の実現を提唱する考え方で、アクサＨＤでは、リスクを恐れず未来に向けて前向きに歩むための一助となればと考え社会啓発に取り組んでいる。

キャンペーンを企画するにあたり、昨年2月に20代から40代の男女952人を対象に行った調査結果を分析したところ、「自分の意思で、自分らしく生きたい」と思う一方、失敗やリスクを恐れるあまり自分自身の判断で決める自信がなく、その結果「自分らしく生きること」から遠ざかってしまっている傾向であることが分かった。

同社は、漠然とした不安が広がる時代に不安を抱えながら漫然と生きるのではなく、「一人ひとりのライフ（人生）がより良いものであるように、変化に際しても柔軟かつ主体的に対応しようと考えているあなたをサポートし続けたい」という思いを同ブランドキャンペーンに込めており、同社のチーフマーケティングオフィサー松田貴夫氏は「このキャンペーンが、人生の目的、人生のビジョンを考えるきっかけとなり、自分の人生を自分らしく生きるために今何をすべきか、何に備えるべきかを考えるきっかけになれば幸いだ。『人生を経営する』の意義を人々に理解してほしい。それを実現するために、アクサの培ったアドバイス能力を生かし、顧客のパートナーとして役に立ちたいと願っている」としている。

なお、キャンペーンは1月28日までで、広告は、昨年11月30日に日本経済新聞朝刊6面に掲載したほか、交通広告（電車・タクシー）、動画広告（YouTube・TVer・SNS（Meta・LINE））を展開している。